

第16回 健康・医療戦略参与会合 資料

2019年5月22日

神奈川県知事 黒岩祐治

1 神奈川の取組

平成から令和へ

「ヘルスケア・ニューフロンティア」の取組が着実に進展

未病産業研究会 会員数 707社



マイME-BYOカルテ 登録者120万人



ME-BYOの国際展開

ヘルスイノベーションスクール開設



日本政府とインド政府の覚書に「ME-BYO」が記述。
神奈川も同時に覚書を締結 (H30.10.29)



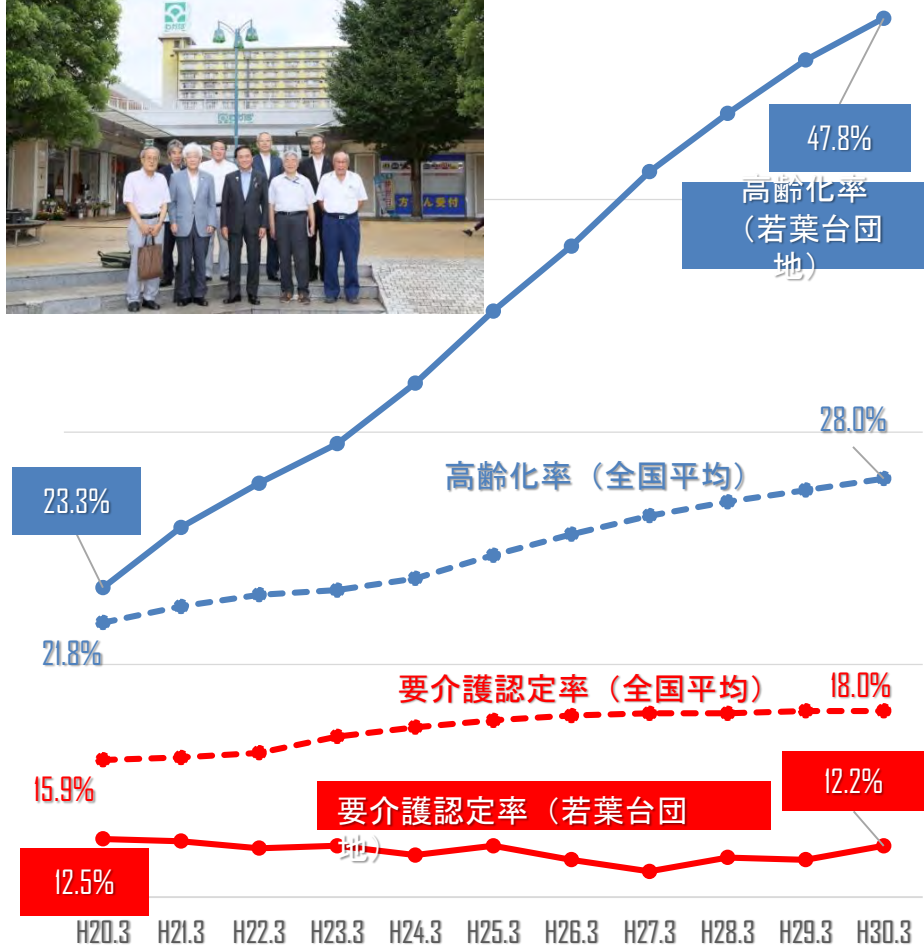
川崎市殿町地区に、神奈川県立保健福祉大学の
大学院修士課程として開設 (H31.4.1)

コミュニティのチカラ

若葉台団地
(横浜市旭区)

コミュニティ活動が盛ん

- ・高齢化率は全国平均の1.7倍
- ・要介護認定率は全国平均の3分の2



笑いのチカラ



2 未来社会の創出に向けて

新たな社会の仕組みづくり

持続可能な「人生100歳社会」をつくるために
個人の主体的な健康管理を促す「未病コンセプト」が重要



革新的な技術を生み出し、活用する
21世紀の新たな社会の仕組みづくりが不可欠
次期の健康・医療戦略に向け次の3つの視点を提案

人を変える仕組み

行動変容を促進するインセンティブの強化

情報を活用する仕組み

新たなルールづくり

専門家が支える仕組み

「未病外来」の創設

提案 1

未病改善のための**行動変容**を促進する**インセンティブ**を、自治体、企業、個人など多面的に構築する。

【取組の例】

- **保険者努力支援制度**の充実
 - ・ **地域の実情**に応じた施策を促進
 - ・ 結果だけでなく、**やる気**も評価
- 税制を活用した企業・個人の**健康投資**の促進
- **笑い**を通じた**コミュニティ再生**など社会参加の仕組みづくり

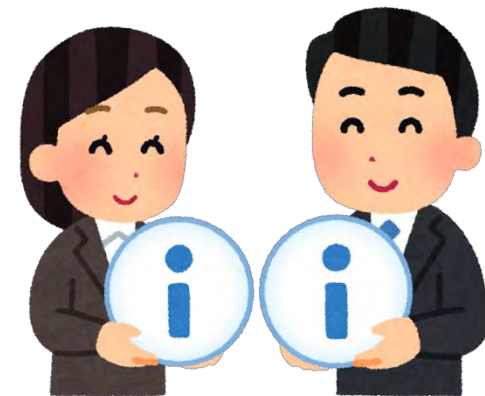


提案 2

新たな技術開発を促進するため、**健康データ**を有効に活用できる**ルールづくり**を進める。

【取組の例】

- 診断記録を含めた**健康データ活用**のルールづくり
 - ・個人が自分のデータに**全面的にアクセス**できること
 - ・**匿名化されたデータ**が**公共**のものであることの明確化
 - ・**情報銀行**の普及など、個人の健康データの提供に関する新たな社会システムの構築



提案 3

専門家が地域を健康にすることで報酬を得られる「**未病外来**」などの社会システムを構築する。

【取組の例】

- **かかりつけ医**が運動・食事など生活を処方する「**未病外来(生活処方外来)**」の普及
- 地域において、いつまでも健康で活躍できるように、**専門家が適切に関わる環境**の整備

